

下水道耐震2025指針(管本体)

土木・建築設計計算 SUCCES

下水道耐震 2025指针对応

公益社団法人 日本下水道協会「下水道施設の耐震対策指針と解説 2025年版」および「下水道施設耐震計算例」(2015年版)に準拠し、新設および既設の下水道管において、レベル1地震動、レベル2地震動の耐震照査を行います。自治体によって異なる係数の入力も可能です。

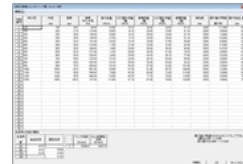
製品特長

プログラムの詳細

■管きょ材料のマスター登録・編集
管きょ材料は下水道協会規格を登録してあります。特殊な管材を登録・編集も可能です。

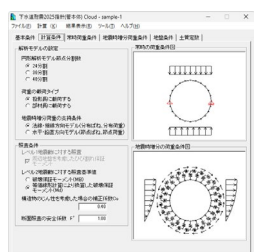


■管きょ材料の選択
マスターデータから、材質・口径を選択すると材料緒元がデータセットされます。変更も可能です。

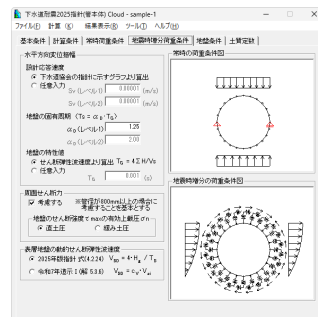


■レベル1地震動に対する照査、レベル2地震動に対する照査基準値

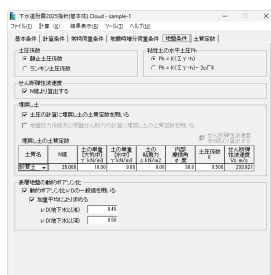
レベル1地震動に対する照査は、周辺地盤を考慮したひび割れ保証モーメントに対応しています。レベル2地震動に対する照査基準値には、等価線形計算により換算した破壊保証モーメントが選択可能です。



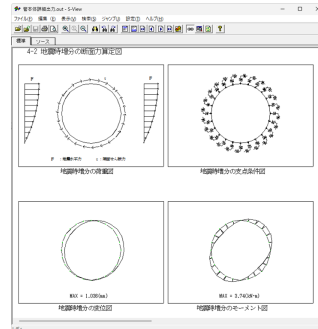
■周面せん断力
管径が800mm以上の場合は、初期値として自動的にセットしますが、任意にON,OFFが可能です。鉛直土圧は「直土圧」、「テルツァギーの緩み土圧」より選択が可能です。



■埋戻し土、動的ポアソン比土圧、地盤反力係数、周面せん断に埋戻し土の土質定数を用いることが可能です。動的ポアソン比は一般値の自動セットと入力から選択が可能です。



■結果の自動作図
数値結果にプラスして、自動作図してプリントできます。



参考文献

公益社団法人日本下水道協会 「下水道施設の耐震対策指針と解説 2025年版」
公益社団法人日本下水道協会 「下水道施設耐震計算例」 (2015年版)

動作環境

※必要メモリ等はシステム環境によって異なる場合がありますのでご注意ください。

OS

Microsoft Windows 11
※Windows動作保証の最新情報は[こちら](#)

ハードディスク

OSのシステム要件を満たし、問題なく動作する環境

メモリ

OSのシステム要件を満たし、問題なく動作する環境

ディスプレイ

1280×1024以上が表示可能なもの